

令和5年度

武雄市教育委員会点検評価報告書

(令和4年度分)

武雄市教育委員会

はじめに

武雄市教育委員会では、武雄市教育の現状と課題や、武雄市教育大綱「組む」の基本指針を踏まえ、「武雄市の教育」の基本目標として、

「乳幼児期からつながる主体的で対話的な深い学びの推進」

「市民一人ひとりの生きがいを高める生涯学習の推進」

「明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造」

「豊かな学びを支える教育環境と子育て環境の整備」

「郷土愛の醸成と協働する市民総参加による教育の推進」

の5つを掲げ、各種の事務事業に取り組んできました。

一方、教育委員会が効果的な教育行政を推進していくためには、自らの活動を点検・評価し、公表することが重要です。

このため、平成19年の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、平成20年度から毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理執行状況について、点検及び評価を行い、その結果を報告書として、議会に提出するとともに、市民の皆様へ公表することとされています。

これを受けて教育委員会では、令和4年度に実施した各種の事務事業が効率的かつ、有効的に行なわれてきたかを点検・評価し、課題や取り組みの方向性について、点検評価報告書としてまとめました。

この点検・評価結果を、市民の皆様へ公表するとともに、今後の武雄市教育行政の一層の充実、推進へとつなげていきたいと考えています。

皆様のご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和5年9月

武雄市教育委員会

＜ 目 次 ＞

1 点検・評価に当たって	2
・令和4年度武雄市の教育 施策の体系	3
2 令和4年度の具体的施策、評価委員からの指摘事項・ご意見	
・意見書	4
・基本目標Ⅰ 乳幼児期からつながる主体的で対話的な深い学びの推進	7
・基本目標Ⅱ 市民一人ひとりの生きがいを高める生涯学習の推進	10
・基本目標Ⅲ 明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造	12
・基本目標Ⅳ 豊かな学びを支える教育環境と子育て環境の整備	14
・基本目標Ⅴ 郷土愛の醸成と協働する市民総参加による教育の推進	17

1 点検・評価に当たって

1 点検評価の対象

今回実施した点検評価の対象は、令和4年度武雄市の教育基本方針に基づき実施した学校教育関係、子育て関係、生涯学習関係、歴史・文化関係及び地域との連携等の各種事務事業を対象としました。

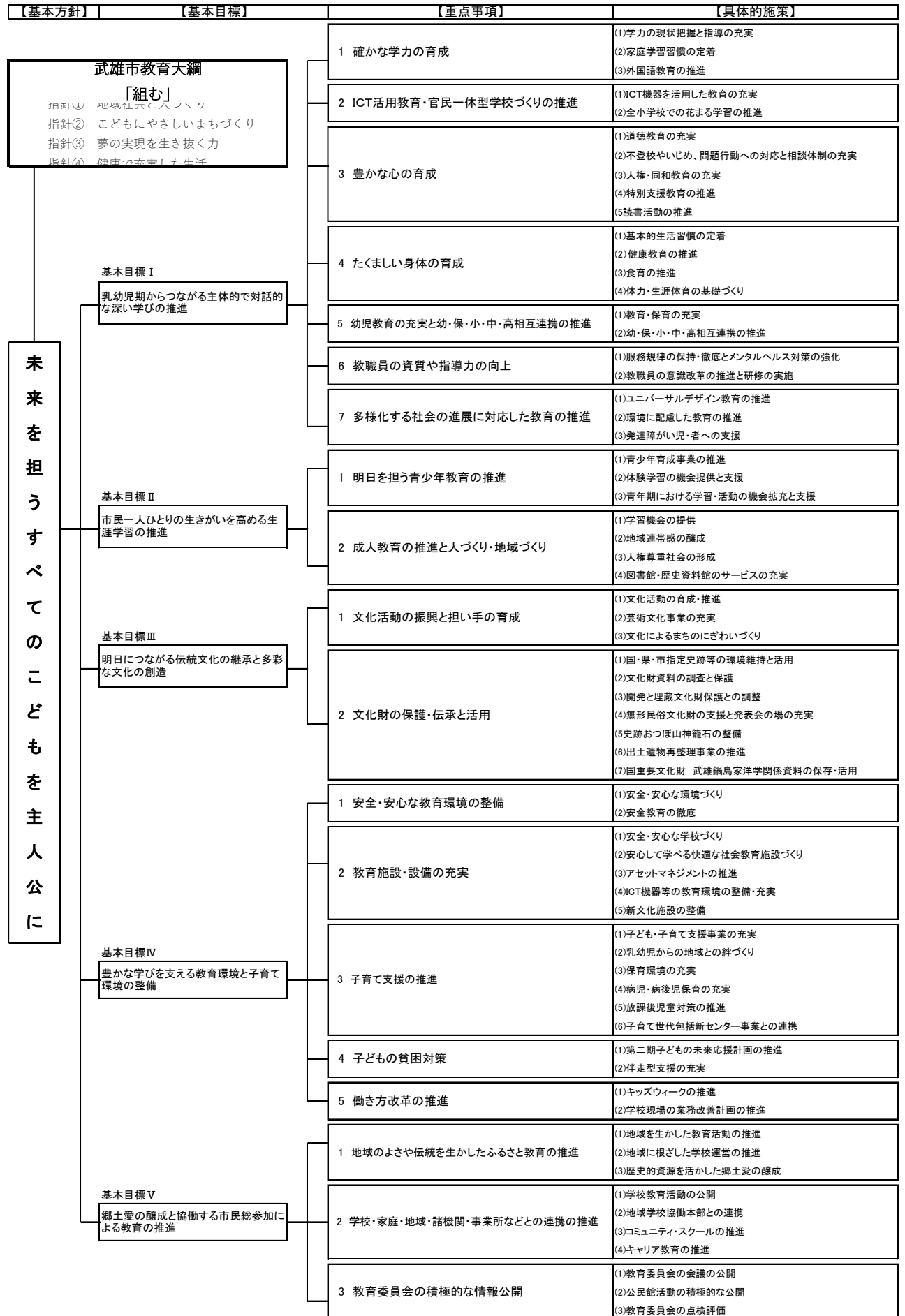
2 点検評価の方法

- (1) 点検評価に際しては、必要性、効率性、有効性、公平性等の観点から分析し、課題や問題点、今後の改善点について示すこととしました。
- (2) 点検評価に際し、その客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方など5人で構成する教育委員会評価委員会を設け、様々なご意見、助言をいただきました。

評価委員会委員の方々は、次のとおりです。

委員長	松 尾 敏 実
副委員長	松 尾 政 勲
委員	馬 場 桂 子
委員	下 村 恵美子
委員	田 中 友 子
(順不同、敬称略)	

令和4年度 武雄市の教育 施策の体系



意 見 書

武雄市教育委員会は、令和4年度武雄市教育の基本方針として、子どもたちの生き抜く力を育むとともに、進展する社会に創意を凝らして対応し、文化の創造や産業の振興など社会や地域の発展に貢献できうる心身ともにたくましい市民の育成を目指して、5つの基本目標を掲げ、諸施策に取り組んで来られました。

本意見書は、武雄市教育委員会が令和4年度に実施した教育委員会活動及び事務事業の自己点検・自己評価結果について、「武雄市教育委員会点検・評価シート」及び関連資料に基づいて、武雄市教育委員会評価委員会が評価したものです。

具体的には、令和5年7月26日、8月23日及び8月31日の3回にわたり評価委員会を開催し、事務事業の目標、自己点検・自己評価の視点や方法の適切さ、目標の達成度に対する自己評価の適切さ、課題、改善策等について検討を行いました。

その結果、評価委員会としての諸施策の評価は、目標に対し概ね達成していると判断しました。個々の事業に対しては、若干の意見を付していますので、今後の改善の参考にしてください。

また、武雄市教育委員会においては、教育・保育施設、学校、家庭、地域の教育力の向上を図り、社会全体で教育的風土の醸成を図るため、様々な事業が展開されており、コロナ禍においても創意工夫を行いながら事業実施に向けて努力されている様子がよくわかりました。その上で、今後、更なる施策の充実を図るため、次の点に留意していただくようお願いします。

- 児童生徒の確かな学力の育成については、継続して学習状況調査の結果を分析し、指導の充実に努めてください。また、ICT活用教育については児童生徒用の学習用端末やデジタル教科書の導入などよく取り組まれています。今後、さらに学力の向上や個別最適な学びや協働的な学びの実現に向けて効果的な活用方法を研究するなど取り組みを進めてください。
- 児童生徒の生き抜く力の育成の観点から確かな学力の育成とともに、道徳教育の充実など豊かな心の育成やたくましい身体の育成に一層取り組んでください。
- 官民一体型学校の推進については、これまで児童の学びや地域の教育力の活用などで成果もあるようですが、事業がスタートしてから一定の期間が経過しており、また、教育環境も変わってきていることから学校現場の意見はどうなのか、学校教育の中で有効に機能しているのかなどの検証が必要であると考えます。
- 不登校対策については、学校の組織的対応や関係機関等との連携、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用などに取り組まれています。引き続き人員の確保と対策の充実に取り組んでください。
- 教職員の働き方改革については、各学校でも工夫しながら取り組まれています。引き続き業務改善に取り組み、学校教育の充実を図ってください。

- 文化活動の振興や文化財の保護・活用などの取組をさらに充実させ、また、地域の文化や歴史を活用した教育活動の推進などにより、郷土を愛する心の醸成に努めてください。
- 安全・安心な教育環境の整備については、学校における安全教育の充実や学校と地域が連携した活動などに積極的に取り組んでください。
- 子育て支援の推進や子どもの未来応援計画の推進を図り、子育てしやすい環境の整備に一層努めてください。
- 学校・家庭・地域・事業所などとの連携を図り、市民総参加による教育の推進に一層努めてください。

教育行政を取り巻く環境は、日々変化しています。武雄市教育委員会が、教育行政を取り巻く環境の変化を的確に把握するとともに、今回実施した点検・評価を踏まえ、今後の武雄市教育行政の一層の充実・発展に取り組まれることを願っています。

令和5年8月31日

武雄市教育委員会
教育長 松尾 文雄 様

武雄市教育委員会評価委員会
委員長 松尾 敏実

教育委員会評価及び評価委員評価一覧表（令和４年度）

項 目		評価委員 評価
I－１	確かな学力の育成	A
I－２	I C T活用教育・官民一体型学校づくりの推進	A
I－３	豊かな心の育成	A
I－４	たくましい身体の育成	A
I－５	幼児教育の充実と幼・保・小・中・高相互連携の推進	A
I－６	教職員の資質や指導力の向上	A
I－７	多様化する社会の進展に対応した教育の推進	A
II－１	明日を担う青少年教育の推進	A
II－２	成人教育の推進と人づくり・地域づくり	A
III－１	文化活動の振興と担い手の育成	A
III－２	文化財の保護・伝承と活用	A
IV－１	安全・安心な教育環境の整備	A
IV－２	教育施設・設備の充実	A
IV－３	子育て支援の推進	A
IV－４	子どもの貧困対策	A
IV－５	働き方改革の推進	A
V－１	地域のよさや伝統を生かしたふるさと教育の推進	A
V－２	学校・家庭・地域・諸機関・事業所などとの連携の推進	A
V－３	教育委員会の積極的な情報公開	A

評価４段階	A	達成	80%以上
	B	ほぼ達成	50～79%
	C	やや不十分	20～49%
	D	不十分	19%以下

基本目標 I 乳幼児期からつながる主体的で対話的な深い学びの推進

【重点事項 1】 確かな学力の育成		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 学力の現状把握と指導の充実					
①学習状況調査などの結果を分析し、指導方法の工夫・改善に努めるとともに、前年度正当率を上回るよう指導の充実を図ります。	・全国・県学習状況調査の正答率の向上 ・放課後等補充学習支援事業	B B A	B	・授業時間の充実と教師の頑張り が大切だと思う。 ・学習面について、改善点で示されている研修の中で課題や改善策を現場目線で検討してほしい。これにより改善が進むことを期待したい。	
(2) 家庭学習習慣の定着					
①学年に応じた家庭学習目標時間を設け、家庭学習の習慣を身につけさせます。	・家庭学習目標時間の設定と手引きを活用した家庭学習の充実	A	A	・家庭学習は保護者との連携が第一と考えるが、家庭の事情も様々なので、学校での一人一人に声かけも必要だと思う。 ・子どもに対する保護者のかかわり方が大切で、保護者への助言や支援をどうするのか重要である。 ・武雄のタブレット導入は、他に先駆けて早く、その分、生徒たちの学習効果が出ていると思う。今後も期待したい。 ・施策評価がAでよく取り組まれているが、実際に子どもたちの学習の時間はどのような状況だろうか。	A
②タブレットを活用した家庭学習の定着	・ドリル等を使った家庭学習の推進				
(3) 外国語教育の推進					
・A L T の活用、小学校での外国語活動などを推進します。	・A L T 活用による外国語活動及び英語科授業の補助	A	A	・ALTには、児童たちに生の発音とコミュニケーションを充分にとって欲しい。 ・小学校でも（中高の）英語の免許をあわせて持っている教員がもっと必要になってくるのではないかな。 ・ALTの授業により、子供達の英語への関心が強まると良いと思います。 ・施策評価がAであることは評価できる。授業力向上に向けて好事例の共有等さらなる改善を期待したい。	
【重点事項 2】 ICT活用教育・官民一体型学校づくりの推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) I C T 機器を活用した教育の充実					
・電子黒板や学習用端末等を活用した授業により学習意欲の向上と学力向上を目指します。	・電子黒板や学習用端末の活用促進 ・デジタル教科書の利活用 ・I C T 教育推進員の配置（16名） ・個別最適な学習環境の提供	A	A	・ICT教育に推進員（16名）も導入されて、数値目標も達成されることを期待している。 ・施策評価がAでICTに向けた環境等よく整備されている。さらに、具体的な学習改善に活かされていくことを期待したい。	
(2) 全小学校での花まる学習の推進					
・公立学校に「民」のノウハウや活力を融合させた新しい学校づくりで、21世紀を生き抜く力を育む教育を推進していきます。	・官民一体型学校の推進 ・花まる学習会からの講師派遣 ・地域支援員の充実	B	A	・花まる学習については、現場の先生の意見を十分にきいてもらいたい。学校の主体性が大切ではないかな。 ・コロナで休止の花まる学習も復活されて、官民一体の活動は市民として応援したい。 ・児童の自己評価は目標達成ができており、評価できると思う。	A

【重点事項3】豊かな心の育成		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 道徳教育の充実		B	B	・世の中の状況を見ると、道徳の時間の充実が大切だと思う。 ・道徳の授業の質的改善をどのように進めていくか、また、その場合、目標値をどのように設定するのか検討する必要があると思う。	
・全学校において道徳の時間の充実に努め、保護者へ授業を公開します。	・ふれあい道徳の実施（道徳の授業公開）				
(2) 不登校やいじめ、問題行動への対応と相談体制の充実		D	B	・（携帯電話など）情報発信の手段が目まぐるしく進化している昨今、児童たちがいやな思いをすることなく成長して欲しい。 ・不登校・いじめについて保護者のかかり方が重要であると考えられる。 ・「不登校・いじめ」について、先生方の心ある対応がみてとれるが、なかなか、歯止めにはならないのが実情。長い目のスタンスの対応が望まれる。 ・不登校児童生徒数の増加に対し、いろいろな取組が行われていることは評価できる。 ・学校と関係機関の連携がさらに進んでいくことを期待したい。	A
①学校・家庭・地域等が連携して、「いじめ」「不登校」「問題行動」への早期対応や教育相談の充実に取り組み、未然防止に努めます。 ②不登校児童生徒を減らすため、目標を設定し、関係機関が連携した取組を進めます。 ③法の整備に伴い、武雄市「いじめ対策条例」を作成し、いじめの根絶を図ります。	・訪問相談員配置事業（3人配置） ・学校適応支援教室「スクラム」事業を利用した不登校対策の実施 ・いじめ対策基本方針に基づく「いじめ」の根絶				
不登校評価基準（過去5年間の推移と平均値から） A：出現率1.5%未満 B：1.5～1.7% C：1.7超～2.0%	問題行動評価基準（過去5年間の推移と平均値から） A：発生率1.4%未満 B：1.4～1.8% C：1.8超～3.2%				
(3) 人権・同和教育の充実		A	A	・時代の変化に沿った人権・同和教育ができていくか。 ・各学校で人権・同和教育に係る研修が行われており、評価できる。	
・人権・同和教育への理解を深めるため、積極的に校内外での研修に参加し、指導の充実に努めます。	・県、市が開催する研修会への積極的な参加 ・校内研修会（LGBT'Qを含む）の実施				
(4) 特別支援教育の推進		A	A	・支援のための人員配置が行われており評価できる。	
・学校生活支援員を配置し、支援を必要とする児童生徒に対して、きめ細かな指導、支援を行います。	・学校生活支援員配置事業の実施				
(5) 読書活動の推進		A	A	・小・中学校時代はしっかり紙の本に触れて欲しい。 ・武雄は幼少期から他の所より、本に親しむ機会が多く、こども図書館も充実しており、子どもたちは恵まれていると思います。 ・学校と武雄市図書館の連携についてさらに工夫が必要だろう。	
①読書ボランティアの活用を通して、読書の楽しさを伝えます。また、全学校で読書活動を推進する取り組みを実施します。	・読書活動の推進 ・読み聞かせボランティアの活用				
②読書の楽しさと必要性を伝えながら読書意欲の向上を図ります。また、武雄市図書館との連携と活用を推進します。	・小中学校と武雄市図書館との連携	B			
【重点事項4】たくましい身体の育成		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 基本的生活習慣の定着		A	A	・「食」の重要性に保護者の理解も重要。 ・毎朝朝食摂取率は高い割合となっている。	
・保護者との連携・協力により、「早寝・早起き・朝ごはん運動」を推進し、基本的生活習慣を身に付け、食の質を向上させる取組を進めます。	・早寝、早起き、朝ごはんの推進				
(2) 健康教育の推進		A	A	・引き続ききちんと取り組んで欲しい。 ・食育は教育の中にしっかり入っていることだと思う。家庭での食事にも目を向けたい。 ・継続して取り組みが進められている。	
・性教育、防煙教育、がん教育、薬物乱用防止などの健康教育を保護者、地域と一体となって取り組みます。	・性に関する授業の実施 ・防煙教室の開催（小6、中1） ・各中学校でがんの教育講演会開催 ・薬物乱用防止教室授業の実施				
(3) 食育の推進		A	A	・学校給食で、アレルギーのある児童に対する学校の対応には頭が下がる。 ・弁当の日によらず、家庭で作っていますか。 ・ふるさと食材の利用もとても良いことです。 ・継続して取り組みが進められている。	A
①学校給食の指導を充実させ、「食」の自己管理能力や望ましい食習慣の定着を目指し、食育の充実に積極的に取り組みます。	・「弁当の日」事業の推進 ・食に関する授業の実施 ・全小中学校での食育への積極的な取組み				
②「たけおの食の日」などを通じて、ふるさとの食材の素晴らしさを児童生徒に伝えます。 学校給食での県産物の利用促進を図ります。 ③自校方式学校給食の充実	・学校給食での県産食材の利用	A			
(4) 体力・生涯体育の基礎づくり		B	B	・コロナ禍で水道の栓が自動になるなど、ちょっとしたことでも楽になり過ぎていて、心配。 ・実績数値は昨年より下がっている。体力向上のためにも必要な取組であることを周知していく必要があると思う。	
・体力テストの結果等を踏まえ、体力向上に努めます。	・体力テストの結果の分析と活用 ・スポーツチャレンジの充実				

【重点事項 5】 幼児教育の充実と 幼・保・小・中・高相互連携の推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(１) 教育・保育の充実					
・乳幼児期の重要性や特性を踏まえ、発達に応じた質の高い教育・保育を提供します。	・保育所、幼稚園、認定こども園等へ教育・保育に係る経費の給付 ・障害児保育事業	A	A	・保育士は足りているのか。 ・今後も必要な取組と思われるので継続して進めてほしい。	
(２) 幼・保・小・中・高相互連携の推進					
・中学校による出前授業、小・中連絡会などを行い、小中の連携・強化に取り組めます。 また、高校生との連携を推進します	・小中連携教育活動の実施 ・高校生ふれあい事業	A C	B	・このような取り組みは私たちの時代にはなかったことです。今の世の中の事情（核家族化など）を考えると、大事にしたい連携。 ・コロナ禍で実施できなかった学校も多かったということで、次年度は実施校が増えることを期待したい。	A
・幼・保・小連携に関する具体策を年間計画に盛り込み、計画的に推進します。	・幼・保・小の連絡会、協議会の開催 ・幼・保・小相互での授業参観交流	B B			
・園児と中学生・高校生の交流を行い、連携の強化に取り組めます。	・育ちあい講座	B			
【重点事項 6】 教職員の資質や指導力の向上		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(１) 勤務規律の保持・徹底とメンタルヘルス対策の強化					
①教職員としての職務上、身分上の義務の遂行に努めます。	・交通事故・体罰等の信用失墜行為の防止	A	A	・そう簡単にはできないと思いますが、学級経営と授業担当の教師がそれぞれ配置されるという点もいっつも思います。 ・「職員の和」がとれていれば、話しやすい職場ができるはず。 ・教師のメンタル問題への対応として、校長とのヒアリングは若い先生方には、とても心強いことだと思う。 ・施策評価ではA評価であり、よく取り組まれている。	A
②教職員のメンタルヘルスの対策強化を図ります。	・ストレスチェックの実施と教職員のメンタルヘルス状況の把握	A			
(２) 教職員の意識改革の推進と研修の実施					
①人事評価制度を活用し、教職員一人ひとりの個性や特性を伸ばし、信頼される教職員の育成を目指します。	・校長による指導とヒアリングの実施による意識改革	A	A	・校長が信頼されているかが重要なことである。校長・教頭・事務長との連携が大切と思う。 ・100%の達成度で、教職員の人事評価や研修、帳簿指導、備品管理事務等よく取り組まれていると思う。	
②教職員の自主的研修の推進及び支援を行い教師の指導力向上に努めます。	・初任者研修等時期に応じた研修 ・武雄市教育研究会の推進	A			
③事務の共同実施を推進し、学校の活性化に努めます。	・学校運営支援室による帳簿指導・備品管理システムの実施	A			
【重点事項 7】 多様化する社会の進展に対応した教育の推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(１) ユニバーサルデザイン教育の推進					
・学校教育の中で、ユニバーサルデザインをテーマとして、他者を思いやる心など豊かな人間性を育む取組を、関係機関と連携して行い、その理解と普及、実践化に努めます。	・UDやバリアフリー、多様な性に関わる授業・学校行事の実施	A	A	・児童がこれから成長していく中での基礎の一つだと思うので、丁寧に説明して欲しい。 ・全学校でよく取り組まれており、今後とも継続した取組をすすめてほしい。	
(２) 環境に配慮した教育の推進					
・節電、節水、リサイクルの周知や、学校内外の清掃作業等の取組を、関係機関と連携して行い、地球環境に配慮した指導・実践に努めます。	・環境教育の実施	A	A	・家庭や地域と連携して、日頃の生活の中で学ぶことも大事だと思う。 ・児童生徒の意識を高めていくためにはよい取組になっていると思う。今後とも継続してほしい。	A
(３) 発達障がい児・者への支援					
・福祉と連携し、発達障がい児・者に対する支援を行います。	・こども家庭課との連携強化	A	A	・必要な支援によく取り組まれている。その中で、支援を受ける者、支援を行う者双方の理解が必要だと思う。 ・多様な児童生徒への対応をしていくためには、必要な取組であり、今後とも継続して行う必要があると思う。	

基本目標 Ⅱ 市民一人ひとりの生きがいを高める生涯学習の推進

【重点事項1】明日を担う青少年教育の推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 青少年育成事業の推進					
①青少年育成市民会議（町民会議）活動の推進 ・武雄市青少年育成市民会議（町民会議）の活動を通して、学校・地域・家庭の連携強化を図り、地域で子どもを育む「たけおっ子絆」プロジェクト！」を推進します。	・ながら防犯、青色防犯バトロール、長期休業中の巡視活動の実施 ・有害図書等自動販売機撤去運動の推進、地域環境点検、巡視活動の実施 ・「月に一度はファミリーデー」の啓発 ・親子で読める広報誌「雄翔」の発行	A	A	・青少年育成事業は、児童たちを見守ると同時に、社会人に成長した時、地域に対する愛着を育てられたらと思う。「地域に育てられたので、恩返しができる仕事がしたい」と思う子に一人でも育ってくれたら、嬉しい。 ・自分の親がPTAや子どもクラブに関わっていたら、その子が親になった時、積極的に活動に参加できるのではないかと。 ・いろいろな青少年育成事業に取り組まれており、学校、家庭、地域の連携がよくできている。今後も引き続き推進してほしい。	A
②子どもクラブ活動の充実と指導者の育成 ・市子連、町子連の活動により、遊び活動や団体活動を通じた学びの場を創ります。	・市子連による交流事業の実施及び単位子どもクラブ活動の充実 ・市子連における研修会の実施 ・町子連における安全講習会の実施	A			
③新・放課後子ども総合プランの推進 ・地域社会の中で、子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進します。	・放課後児童クラブの実施 ・放課後子ども教室の実施 1) 一体型放課後児童クラブ・子ども教室の実施 2) 連携型放課後児童クラブ・子ども教室の実施	A			
④子ども、親子向けの防災教育 ・放課後児童クラブ、子育て支援センター事業、青少年教育団体等において防災講座を実施し、防災意識の向上に努めます。	・放課後児童クラブでの防災講座 ・保護者や子育て支援者へ防災講座の実施 ・青少年講座や子どもクラブ活動での防災講座の実施	A A B			
(2) 体験学習の機会提供と支援					
①地域のリーダー育成 ・野外活動や体験活動の中で、集団での役割や協働意識を学び自発性のある心豊かな青少年育成に取り組み、地域のリーダーとしてのスキルを修得します。	・わんぱくスクールの開校 ・ジュニアリーダー育成研修会の実施 ・武雄市・雄武町児童交流団派遣事業の実施	A	A	・地域によって、児童の参加状況に差があるのではないかと。児童の多い地区と少ない地区の連携を積極的に行って、事業に取り組んでいけば子どもたちもより楽しいのではないかと。思う。 ・リーダーの育成は子どもたちをいかに多く参加させるかが問題。 ・学校外のところで体験学習の機会をいろいろ設けられている点は大変評価できる。また、参加の状況も目標を達しており、よく取り組まれている。	
②ジュニアリーダーの活動機会の充実 ・ジュニアリーダーの活動の場を増やし、リーダーとしての意識を高めます。	・わんぱくスクールにおける児童の指導力の向上 ・市事業への参加や地域子どもクラブ活動への派遣	A			
③青少年講座の充実 ・子どもたちの体験学習や地域活動を推進し、創造力の醸成、郷土を愛する心を育みます。	・発明クラブの実施 ・公民館における子ども対象講座の実施	A			
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
④野外体験学習の充実 ・野外恩恵を享受して自然とふれあい、自然の恵みを受けながら学ぶ機会を提供することにより、青少年の健全育成及び市民の健康の増進を図ります。	・眉山キャンプ場の利用促進	B	A	・野外体験を継続させることが大切であると思う。例えば学校ごとの体験活動ができないだろうか。	
⑤子どもの読書活動の推進 ・公民館において、武雄市図書館・こども図書館の巡回図書の活用や子育て支援センター、地域の読書ボランティアの方との連携により、子どもたちが本に親しみ、読書を楽しむ習慣を身に付けるための環境づくりを推進します。	・武雄市図書館の巡回図書の活用 ・読み聞かせの実施	A			
(3) 青年期における学習・活動の機会拡充と支援					
①学習機会の提供 ・多くの仲間との絆づくりができる学習機会の場を提供します。 ・ふるさと武雄の良さを再確認と多くの仲間との絆づくりができる学習機会の場を提供します。	・青年層を対象とした学習講座の実施やサークル団体の育成 ・成人式の実施	A	A	・青年層の学習機会の提供及び修学支援は今後の地域を支える人材育成にもつながる取組で、施策評価の結果をみても評価できるものになっている。	A
②修学支援 ・経済的理由により大学等への修学が困難な者への支援を行います。	・奨学資金の貸与	A			

【重点事項2】成人教育の推進と人づくり・地域づくり		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 学習機会の提供					
①生涯学習まちづくり出前講座の実施 ・市民のニーズや市の重点施策等によりメニューを見直し、身近で分かりやすい充実した講座を提供します。	・メニューの充実	A	A	・2つの町の公民館でコラボして、講座のような仕掛けをすることで、交流もできて楽しいのではないかなと思う。 ・“サークルフェスタ”では、市の職員の方々のお世話をいただいた。本来は、会員たちがもっと動くのが理想の形であるが、高齢化で叶わないことが現実である。 ・生涯学習に関わる取組について例年通り良く取り組まれている。地域づくりにもつながる取組で引き続き推進してほしい。	A
②公民館活動の充実 ・地域住民のニーズを反映した講座の開催や各町のまちづくり団体等の支援を行います。	・成人対象講座の充実 ・自治公民館、各種団体の支援	B			
③学習団体への支援 ・中央公民館サークルや各町のスポーツ、文化サークルへの活動場所の提供、活動発表の場を創出します。	・活動場所の提供及び発表の場の創出	A			
④高齢者の学びの場の確保 ・高齢者の学習機会の提供や支援を行います。	・武雄市民大学への支援 ・黒髪大学、延寿学級の実施	B			
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(2) 地域連帯感の醸成					
①多世代交流の推進 ・地域行事への幅広い年代層の参加を勧め、心豊かな地域づくりを推進します。	・地域コミュニティ活性化事業の実施（地域活動の日、通学合宿等） ・地域の特色を生かしたイベントの実施	B	A	・コロナ禍で、なかなか安心して通学合宿を実施できなかったと思うが、参加する児童と同様、送り出す親も不安は大きかったと思う。 ・地域連帯感の醸成に関わる取組について、昨年並みに実施されている。今後も引き続き推進してほしい。	
②多文化交流の促進 ・地域住民と外国人住民との相互理解を深め、多文化共生のまちづくりにつなげます。	・多文化共生事業の実施	A			
③防災教育による地域防災力の強化 ・まちづくり出前講座等を活用し、公民館事業、社会教育関係団体での防災意識の向上を図ります。	・出前講座における防災意識の向上 ・「防災」の視点を取り入れた事業、イベント等の実施	A			
(3) 人権尊重社会の形成					
①市民や企業・団体などを対象とした啓発活動の推進 ・人権問題学習会や出前講座等を開催し、市民一人ひとりが人権・同和問題についての正しい理解・認識を深め、差別のない明るく住みよい武雄市を築きます。	・人権問題学習会の開催 ・出前講座における人権啓発 ・ケーブルテレビ（市役所だより）番組での人権啓発の取り組み	B	B	・人権尊重社会の形成のためにもそれぞれが大切な取組になっている。実績値は昨年比較して改善しているものもあり、よく取り組まれている。	A
②人権フェスタの開催 ・「考えよう 相手の気持ち」「育てよう 思いやりの心」を実践するために「人権フェスタ in たけお」を開催します。	・人権フェスタの開催（男女共同参画イベントと共催）	B			
③人権・同和教育における学校教育との連携 ・市内小・中学生から人権標語を募集し、学期からの人権意識の醸成に努めます。	・人権標語の募集、表彰及び広報	A			
(4) 図書館・歴史資料館サービスの充実					
①図書館・歴史資料館のサービスの向上 ・市民価値の高い図書館サービスの充実を図り、来館者、図書貸出等の増を目指します。 また、各種講演会をはじめ司書講座、古典講座、古文書講座等を実施し、その充実を図ります。	・各種講演、講座、イベント等の充実 ・県内公共図書館相互貸借システムの推進 ・レファレンス業務の充実	A	A	・子どもが他県の大学に通っていた時、その大学の教授から武雄にはとても素晴らしい歴史がある事を聞き、親子で地元の事をよく知らなかった事を反省した。「こども歴史コーナー」の活用は、とても良い取り組みである。 ・図書館・歴史資料館の満足度等については、昨年よりさらに好評価となっており、素晴らしいと思う。また、郷土資料館の活用や情報発信についても好評価になっている。これらについては、今後も継続して推進してほしい。	
・「こども図書館」では、絵本や遊びを通した学びと交流の場づくりに努めます。	・子ども向け講座、読み聞かせ等の充実 ・親子の「学びの場づくり」	B			
② 郷土資料の活用と情報発信 ・武雄の歴史や文化をテーマとして企画し、郷土への愛着を一層深めもらうために企画展を開催します。	・企画展の開催 ・ギャラリートーク、講座等の実施	A			
・館内での動画の放映やこども歴史コーナー等での展示、ホームページ等での紹介など歴史資料の情報発信に努めます。	・館内での歴史紹介動画の放映 ・こども歴史コーナーの活用 ・ホームページ、ケーブルテレビ、パンフレット等を活用した情報発信	A			

基本目標 Ⅲ 明日につながる伝統文化の継承と多彩な文化の創造

【重点事項 1】文化活動の振興と担い手の育成		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 文化活動の育成・推進					
①武雄市文化連盟に属する各種文化団体の活動を支援し、文化会館・山内改善センター・北方公民館を中心に、文化のまちづくり構想の「まちじゅうアートプロジェクト」として、より多くの場所で文化祭や美術展覧会を開催します。	・たけお芸術祭の開催 ・公募美術展覧会の開催	A	A	・旧武雄市と山内町・北方町との合併から20年が経とうとしているが、文化連盟が9町同じバランスにできていないように思う。 ・施策評価はAで、よく取り組まれている。さらなる工夫をしていきたいということで、期待している。	A
②こどもあーとD.Eスマイルオフィスを実施し、子どもの夢や個性・能力を知ってもらい、地域の方々に子どもたちと市民の交流を通じて、地域の活性化を図ります。	・こどもあーとギャラリー	A			
(2) 芸術文化事業の充実					
①公募により図書館・歴史資料館の企画展示室を個人・団体に貸し出し、文化活動を広げる場を提供します。	・公募展の募集	A	A	・“たけお音楽祭”は現在の文化会館設立と同時に開催されている。市外の団体、高校生の出場も多く、年中行事の一つとしてくれているところもある。残念なことは、地元の中学生の参加がないこと。 ・コロナ禍の中でのここ3～4年の活動は、自粛が多く、職員の方々のご苦労は多かったと思う。その中でのイベント開催は、よくやっていると思う。 大村市とのつながりは、新幹線開業を機に始まり、とても良い交流ができています。アウトリーチでは、普段、子どもたちが聴けない楽器に触れてとても貴重な体験ができています。身近で見て、子どもたちのキ	
②市民が参加・企画する、たけお音楽祭などを継続して支援します。	・たけお音楽祭	A			
③名画上映・クラシックのコンサート実施など優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供します。	・映画鑑賞会 ・優れた芸術文化の鑑賞	B			
④文化のまちづくり構想の「文化の薫る学校づくり」として、子どもたちが本物の文化・芸術に触れられる機会を提供します。	・アウトリーチ事業	A			
⑤市民が文化に気軽に触れるきっかけとして、様々なテーマによるワークショップを実施します。	・体験型ワークショップ実施	A			
(3) 文化によるまちのにぎわいづくり					
文化のまちづくり構想の「文化のハブ都市化」として、令和4年秋頃に開業する西九州新幹線をきっかけとして、文化の面からも西九州における人の流れをつくり、市内外の交流を図っていきます。	大鉄道展 ・歴史資料館特別企画展 ・体験型、音楽、映画等のイベント	A	A	・新規事業としていろいろなことによく取り組まれている。	

【重点事項2】 文化財の保護・伝承と活用		自己評価		評価委員の評価	
具体的施策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 国・県・市指定史跡等の環境維持と活用					
①国・県・市が指定する史跡・天然記念物の環境の維持・保全に努めるとともに、所有者への助言、指導を行います。	・文化財の保全体制 ・史跡等のパトロール ・所有者への助言、指導	A	A	・文化財の維持、保全によく取り組まれている。今後とも継続して進めていただきたい。	
②文化財防火デー火災防御訓練を消防機関等と連携して開催し、文化財の災害予防と文化財愛護の意識の高揚を図ります。	・文化財防火デー火災防御訓練	A			
(2) 文化財資料の調査と保護					
・本市に所在する重要な文化財を後世に伝えるため、資料の調査を行います。また、文化財保護審議会を定期的に開催し、本市の取り組み状況について説明、助言をもとめます。	・文化財保護審議会の開催	A	A	・文化財保護のためには必要な取り組みであり、今後とも継続して進めていただきたい。	
(3) 開発と埋蔵文化財保護との調整					
・土地の開発に関し、埋蔵文化財保護との調整・指導を行い、埋蔵文化財の保護に努めます。	・市内遺跡発掘調査事業	A	A	・今後とも継続して進めていただきたい。	
(4) 無形民俗文化財の支援と発表会の場の充実					
・国・県・市の補助金や各種財団の助成金制度について情報を提供し、保存会活動を支援します。	・武雄市伝統芸能保存連絡協議会の開催・支援	A	A	・コロナ禍で伝統芸能の発表がなくなり、伝承が困難になることが心配である。 ・伝統芸能は、地域をあげて実施して欲しい。小・中・高の積極的な参加が大切ではないか。 ・伝統芸能保存のためには、必要な取組である。今後とも継続して進めていただきたい。	A
・武雄市伝統芸能保存連絡協議会を中心に、後継者育成を目的とした発表の場の提供を図ります。	・武雄市伝統芸能まつりの開催・支援	-			
(5) 史跡おつぼ山神籠石の整備					
・史跡おつぼ山神籠石保存整備計画に沿って整備と周知を行います。	・史跡おつぼ山神籠石保存整備事業 ・整備検討委員会の開催	A	A	・おつぼ山の保存整備は実施し、後世に伝えなければならない。 ・史跡保存整備のために必要な取組である。今後とも継続して進めていただきたい。	
(6) 出土遺物再整理事業への推進					
・過去に発掘調査を行い、出土した市内埋蔵文化財を再整理し、適正に保存・管理、活用できるようにします。	・市内出土遺物再整理事業	A	A	・埋蔵文化財の整理は必要なことであり、課題等検討しながら取り組んでいただきたい。	
(7) 国重要文化財 武雄鍋島家洋学関係資料の保存・活用					
・武雄鍋島家洋学関係資料の適切な保存に努めます。	・武雄鍋島家洋学関係資料管理台帳（デジタル）作成のための、資料の総点検及び既存データ整理事業	C	B	・歴史ある武雄市なのに、それを感じる常設の場所がない。訪ねてきた来客などに案内したくてもできない。 ・武雄鍋島家の資料整理に関しては、実績数値についての事情は理解した。今後とも必要な取組であり進めていただきたい。	
・市民、観光客等に、武雄鍋島家洋学関係資料に親しんでもらうため、企画展を開催します。	・武雄鍋島家洋学関係資料企画展の開催	A			

基本目標 IV 豊かな学びを支える教育環境と子育て環境の整備

【重点事項1】安全・安心な教育環境の整備		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 安全・安心な環境づくり		A	A	・通学路で毎朝・下校時に児童を見守ってくださる方々に感謝です。 “ながら防犯”玄関で花に水をやりながら、犬の散歩をしながら、ウオーキングをしながら、など地域の人たちの生活をしながら、下校時間に見守っていたくことをもう少し周知ができればと思う。 ・PTAや地域の協力を得た取り組みは大事であり、継続して取り組まれることを期待したい。	A
①PTA・育友会等と連携・協力して、不審者、声かけ事業等から子どもたちを守ります。	・各学校で地域や保護者と連携した定期的な見守り活動の実施 ・安全マップ、緊急時対応マニュアルの確認と見直し ・「こども110番のいえ」の周知				
②通学路の安全確保のため、学校・家庭・地域社会の協力体制のもと、日常点検等を行い、交通事故等の未然防止に努めます。	・年1回以上の通学路の安全点検 ・防災の視点からの点検（大雨、地震、ブロック塀等）				
(2) 安全教育の徹底		A	A	・児童生徒の安全確保のためよく取り組まれており、意識を高めることにもつながっていると思う。引き続き取組を進めていただきたい。	
①「自分の身は自分で守る」意識の定着を目指し、防犯ブザーの所持徹底を図ります。	・防犯ブザーの携帯 ・防犯教室の開催				
②「全ヘル運動」を実施し、自転車に乗るときのヘルメット着用を推進します。	・「たけおっ子全ヘル運動」の推進 ・交通安全教室の開催				
③安全に関わる防災教育や訓練を行い児童生徒の危機回避能力を高めます。	・避難訓練等の計画的実施 ・市防災講座の活用				
④インターネットやスマートフォン等の利用に関するモラルの育成に積極的に取り組みます。また、関係機関、保護者と連携し、児童生徒に適正な利用の指導を行います。	・情報モラルに関する学習の実施	A			
【重点事項2】教育施設・設備の充実		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 安全・安心な学校づくり		A	A	・学校施設の安全点検は、学校の危機管理にとって大変重要なことであり、しっかりした取組ができていていると思われる。引き続き取組を進めていただきたい。	A
①学校施設・設備の定期点検、日常点検で危険箇所や劣化の状況を調査し、安全・安心な学校施設・設備の維持管理に努めます。	・消防設備、電気設備、浄化槽の点検及び維持補修 ・営繕工事の実施				
②児童生徒が安心して学べる学校生活空間づくり、安心して遊べるための環境整備に努めます。 また、誰もが利用しやすいよう、バリアフリーなどにも配慮した施設づくりに努めます。	・各種施設の保守点検 ・バリアフリー等、施設の点検	A			
(2) 安心して学べる快適な社会教育施設づくり		A	A	・社会教育施設の安全点検について、取組がよくできている。引き続き取組を進めていただきたい。	A
①社会教育施設の維持管理					
社会教育・文化施設の日常点検、定期検査を適切に行い、安心して利用できる環境整備施設に努めます。	・定期検査の実施 ・営繕工事の実施				
②公民館は、地域の学習拠点として、誰もが利用しやすいようバリアフリーにも配慮した施設づくりに努めます。また、災害時には、避難所として利用できるよう機能強化に努めます。	・バリアフリー等、施設の点検	A			
(3) アセットマネジメントの推進		A	A	・着実な計画推進ができています。	
・学校施設、放課後児童クラブ施設や社会教育施設について、アセットマネジメントによる個別施設整備計画を推進します。	・アセットマネジメント個別計画の推進				
(4) ICT機器等の教育環境の整備・充実		A	A	・計画通りの整備、更新ができている。	
・電子黒板や学習用端末等の整備・更新を適宜実施します。	・電子黒板や学習用端末等の更新				
(5) 新文化施設の整備		A	A	・新規事業としてよく取り組まれている。	
・現文化会館の施設、設備の課題解消、機能向上を図り、新たな文化の拠点づくりに着手します。	・基本計画の策定				

【重点事項 3】子育て支援の推進		自己評価		評価委員の評価			
具 体 的 施 策		主要事業名		事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 子ども・子育て支援事業の充実				A	A	・理想像ではあるが、小学生の子どもには、帰宅時、家で家族が「おかえり」と声かけてやりたいものだ。支援も重要であるが、企業の協力はできないものだろうか。 ・子育て支援について、充実した取組が行われており、今後も推進していただきたい。	A
・すべての家庭が安心して子育てができるよう、様々な社会環境の変化に対応した子育て支援を充実します。		・利用者支援事業（基本型） ・延長保育事業 ・一時預かり事業 ・ファミリーサポートセンター事業 ・病児・病後児保育事業（(4)に再掲）					
(2) 乳幼児期からの地域との絆づくり				A	A	・子育て支援や乳幼児期からの地域との絆づくりに関する様々な取組が行われている。達成度や事業評価、施策評価については昨年度から向上している。	
①保護者の学習機会の充実 ・家庭での教育力向上のため保護者のニーズにあった支援をします。 ・父親の育児を支援します。		・赤ちゃんひろば ・親子講座 ・マタニティヨガ&胎教バスタルアート ・子育て講演会 ・パパとあそぼう					
②子育て支援者の質の向上 ・子どもの健やかな発達を支援するため支援者の質の向上や、保護者支援について研修します。		・子育てサポーター等養成講座 ・子育てサポーター定例研修 ・ファミリーサポート協力会員研修 ・抱っこボランティア研修 ・保育者のためのスキルアップセミナー ・放課後児童クラブ支援員・補助員研修					
③地域の子育て支援の充実 ・子育て支援者交流会の実施、地域の子育て親子の交流・支援、情報提供をします。 ・公民館におけるひろばを通じ、親子が地域に触れる機会を増やし、郷土を愛する心の育成を図ります。		・子育て支援者交流会の開催 ・公民館等での子育てひろば開催（地域ひろば） ・赤ちゃん登校日開催（武小、山中、北方中） ・おひさまフェスタ開催 ・センター通信「くすくす」発行 ・おひさまブログ発信					
④ブックスタート（おひでよんで！）事業の推進 ・乳児（５ヶ月児）を対象に、絵本を通して親子の心の交流を深め、心安らぐ時間を共有してもらうよう支援します。 ・ボランティア、市関係部局と連携し、子育て支援を充実します。		・毎月、こども図書館で読み聞かせ、絵本のプレゼントを実施					
		・保健師、保育士等の出張相談窓口を設置					
(3) 保育環境の充実				A			
・市内における保育・教育施設の質の向上と多様化する保育ニーズに対応します。		・保育士確保事業（就職支援補助、家賃補助、保育料補助） ・合同求人説明会 ・各施設に講師を派遣し研修会を実施					
(4) 病児・病後児保育の充実				B	A	・子育て支援の観点から高く評価できる取り組みである。広報にも力を入れてあり、今後も推進していただきたい。	
・病児・病後児保育施設の利用促進を図り、就労等でお困りの保護者の負担を減らします。		・病児・病後児施設の周知、利便性の向上					
(5) 放課後児童対策の推進				A	A	・支援員の確保が難しいが、何とか工夫して確保して欲しい。 ・放課後児童クラブ等よく取り組まれている。支援員の確保等今後さらに期待したい。	
①放課後児童対策の推進 ②全ての就学児童が放課後等を安全安心に過ごし、多様な体験・活動を行えるよう進めます。		・放課後児童クラブの実施 ・放課後子ども教室の実施 1) 一体型放課後児童クラブ・子ども教室の実施 2) 連携型放課後児童クラブ・子ども教室の実施					
(6) 子育て世代包括支援センター事業との連携				A	A	・子育て支援の取り組みとして評価できる内容で、引き続き切れ目のない支援に取り組んでほしい。	
・子育て世代包括支援センターを、健康課と子育て総合支援センターに設置し、妊娠期から関係機関との連携を図りながら切れ目のない支援を実施します。		・利用者支援事業（母子保健型）					

【重点事項 4】子どもの貧困対策		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) 第二期子どもの未来応援計画の推進		—	—	・子どもの貧困対策としていろいろな取組が行われている。引き続き取組の充実を期待したい。	A
・第二期計画の推進により次世代を担う子どもたちが、環境に左右されることなく、教育機会の均等を図るため、実態把握と必要に応じた対策を推進実施します。	・第二期子どもの未来応援計画の推進				
(2) 伴走型支援の充実		A	A	・こどもの笑顔コーディネーターの先生の関わりは有意義で素直に生き生きと成長してくれればと思う。 ・伴走型支援として、評価できる取組である。引き続き取組の充実を図ってほしい事業である。	
・子どもの成長段階に合わせ、妊娠・出産期から小学校期など、早い段階から長期的・継続的な支援を行うことにより、子どもの貧困の解決と予防を推進します。	・こどもの笑顔コーディネーターによる伴走型支援				
【重点事項 5】働き方改革の推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主要事業名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(1) キッズウィークの推進		A	A	・キッズウィーク期間中、小・中学生がいる市の職員は休暇を取り、家族と過ごしているのか。企業の理解の前に武雄市役所が理解すべきでは、市内で一番大きい企業は武雄市役所。 ・計画されていた企画はすべて実施できたということでよく取り組まれている。	A
・「働き方改革」による「キッズウィーク」の推進に向け、市長部局と連携して取り組みます。	・キッズウィークの推進				
(2) 学校現場の業務改善計画の推進		A	A	・学校の働き方については、昔とは意識が変わってきた。 ・支援員の増員はぜひ実行して欲しい。マンツーマンの対応には限界もあり、支援の先生方の働きやすい環境づくりをお願いしたい。 ・業務改善について、各学校でもよく取り組まれている。	
・教職員の時間外勤務の縮減を実現するため、「学校における業務改善計画」を推進します。	・学校における業務改善計画の推進(教職員の勤務時間の把握・分析) ・部活動基本方針の徹底				

基本目標 V 郷土愛の醸成と協働する市民総参加による教育の推進

【重点事項 1】 地域のよさや伝統を生かしたふるさと教育の推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主 要 事 業 名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
（１）地域を生かした教育活動の推進					
①たけお教育の日 ※学校・家庭・地域の連携・協力のもと、地域の宝である「たけおっ子」とともに市民一人ひとりが学び合い、支え合い、高め合い、温かくたくましい教育のあり方を考える日 ・子どもたちが、生まれ育った武雄市の歴史や文化を学び郷土を愛する心を醸成するとともに、子どもたちがともに、学んだこと、感じたことなどの発表の場を創り、将来への希望や目標を持ち、達成しようとする心を育むことができるよう取り組みます。 ・地域の「人」「もの」を教育活動で積極的に活用します。	・たけお教育の日イベントの開催 (内容) たけおっ子の主張、活動発表のほか、教育委員会各課、庁内関係部署における子ども関連事業。 ・地域教材等の授業での活用 ・特別非常勤講師制度の活用	A A	A	・家族のあり方を考える「教育の日」の市民の認識は不十分であると思う。保護者で休暇を取得するのは難しい人が多いのでは。国民の休日になればいいと思うが。 ・武雄市の特色ある取組になっている。成果も出ていると思う。	A
（２）地域に根ざした学校運営の推進		A	A	・全小中学校が何らかの形で地域の活動に参加しており、大変素晴らしいと思う。	
（３）歴史的資源を活かした郷土愛の醸成					
①史跡、伝統文化等の学習活動 史跡や伝統文化等が市民にとって身近な学習教材となるよう、出前講座等で機会を提供します。 ②歴史資料を活かした教育活動 学校教育や社会教育の中で、武雄の歴史資料に対する理解を深めるための啓発を行い、郷土への愛着心を深めます。	・出前講座、出前授業の開催 ・副読本「わたしたちの武雄市」「すごいぞ武雄」の学校教育での活用 ・出前講座の積極的な呼びかけや歴史ワークショップの開催	A B	A	・地元の先生が自分が生まれ育った武雄の歴史を郷土愛を込めて児童とふれ合うことは最高。市内の小中学校の教員で市内で育った教員はどの位だろうか。 ・出前講座やワークショップ等いろいろ取り組まれている。改善点にもあるように周知等に力をいれることで取組が進むことを期待したい。	
【重点事項 2】 学校・家庭・地域・諸機関・事業所などとの連携の推進		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主 要 事 業 名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
（１）学校教育活動の公開					
①「学校運営協議会」「学校関係者評価」を活用し、学校教育活動を積極的に公開します。 ②学校リーフレットや学校ホームページ等で児童生徒の様子を保護者や地域に積極的に公開します。	・学校運営協議会等の開催 ・学校のホームページの活用、更新	A	A	・学校の情報発信は大切なことであり、市内の全小中学校はよく取り組まれていると思う。	A
（２）地域学校協働本部との連携					
・地域、関係機関との連携を深め、地域協働本部を中心に、学校を核とした地域との協働活動に取り組みます。	・地域学校協働本部事業	A	A	・今まではPTA（親と先生の組織）だったが、これからは地域（C：Community）が加わり、PTCAという組織で動いていくと理解する。 ・今後とも継続して進めていきたい。	
（３）コミュニティ・スクールの推進					
・学校・地域・保護者が一体となった学校運営協議会の運営を、より強固な体制に構築します。	・コミュニティ・スクール推進事業	A	A	・今後とも継続して進めていきたい。	
（４）キャリア教育の推進					
①市内外の企業・事業所等や市民の協力を得ながら、職場体験学習、起業家教育を充実させます。 ②武雄の先輩の力を教育活動に活かします。	・職場体験の実施（地元事業所を中心に職場体験）	A	A	・職場体験はぜひ実施して、自立する人材をつくる。 ・コロナ禍の中で工夫して取り組まれていると思う。	

【重点事項 3】 教育委員会の積極的な情報公開		自己評価		評価委員の評価	
具 体 的 施 策	主 要 事 業 名	事業評価	施策評価	指摘事項・意見	施策評価
(１) 教育委員会の会議の公開		B	B	・今後とも積極的な情報公開に努めていただきたい。	A
・教育委員会会議の開催日程などを広報し、会議への傍聴を積極的に働きかけ、会議録の公表に努めます。	・会議開催のお知らせ ・会議録の公表				
(２) 公民館活動の積極的な公開		A	A	・月１回、全戸配布される市報と公民館だよりにより全市民が関心をもってくれる努力をしなければならない。 ・情報発信によく取り組まれている。今後とも継続して進めていただきたい。	
①公民館事業等の情報発信 ・中央公民館、各町公民館から、より地域に密着した行事、話題や出来事などを、公民館だよりやホームページなどで積極的に公開します。	・公民館だよりの発行 ・公民館のブログの更新 ・市報、市ホームページ等の活用				
(３) 教育委員会の点検評価		A	A	・よく取り組まれている。	
・教育委員会での自己点検・自己評価を行い、外部の有識者で構成する評価委員会の意見を添えた「武雄市教育委員会点検評価報告書」を市議会へ提出するとともに、ホームページで公表します。	・評価委員会の開催 ・評価報告書の議会提出 ・評価報告書の公表				